

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
中区青色防犯パトロール活動支援事業				中区役所企画総務課、中区役所自治推進課			
事業目的		事業内容		活動指標		R5	R6
青色防犯パトロール活動において、安全の確保と不測の事態への対処のため、複数名が乗車することを警察から推奨されているが、活動団体によっては乗車人数が複数名準備できない場合、防犯パトロール活動の実施を見送っている現状がある。 このような現状を解決し、体感治安向上のため青色防犯パトロール活動の支援を行う。		青色防犯パトロール団体の隊員が運転する青色防犯パトロール車に大阪公立大学ボランティア・市民活動センターから紹介された大学生が同乗し、地域の防犯パトロール及び防犯活動（不審者発見時の警察への通報等）を実施する。		青色防犯パトロール実施回数		7回	0回
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
◎	乗車人数が不足する青色防犯パトロール団体に学生ボランティアを紹介することで、青色防犯パトロール実施回数の増加が見込まれる。それにより地域の体感治安の向上につながるため、区が事業を実施する妥当性が高い。	○	大阪公立大学ボランティア・市民活動センターにて学生ボランティアの募集を行い、活動支援を行ったため、協働事業と言える。	○	中区にある大阪公立大学と連携した取組であるため、区域の特色を活かした事業である。	○	参加者は大阪公立大学ボランティア・市民活動センターでボランティア募集をしており、事業費用はボランティア保険料及び大学と活動場所間の交通費のみであるため、費用対効果の高い事業と言える。
⑤自立発展性		総合評価					
○	青色防犯パトロール団体が自ら大阪公立大学ボランティア・市民活動センターと連携して、学生ボランティアの募集を行うことも可能であり、自立発展性は高い。	—	今年度は学生ボランティア募集に1人しか応募がなく、また、青色防犯パトロール団体の運転手が多忙であったことから、スケジュールが合わず実施できなかったため、評価できない。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	本事業を希望した団体は1団体、参加学生は1人という状況であり、日程調整を行い活動を実施するところであったが、急な事情の変更により結果として実施できなかった。昨年度と同様に青色防犯パトロール団体と学生とのスケジュール調整の難しさが改めて浮き彫りとなった。 来年度は学生ボランティア募集にあたり、大阪公立大学ボランティア・市民活動センターにて学生への積極的な声掛けを依頼することで参加学生数の増加をめざすとともに、中区自治連合協議会定例会において、本事業の対象団体を募ることで、活動団体数を増やし、活動回数の増加を図る。 ただ、過去に青色防犯パトロール団体に意向確認した際は、同乗者よりも運転手が不足している状況であったことから、新たに本事業を希望する団体がなく、参加学生も増えなければ、来年度をもって事業を廃止することも含めて検討する。						